

令和6年1月9日



# スクラム

柳井市立小田小学校

学校だより第634号

校長 浅海 範明



**旧年中はお世話になりました**

**気を引き締めて、有終の美を飾る三学期に**



新年早々に起きた甚大な災害や大きな航空機事故で、新年を祝う気持ちも控えめになりましたが、これらの出来事を教訓として気を引き締め、前向きに学年のまとめとなる学期へと気持ちを新たにしたいと思います。

毎年のことながら三学期は足早に過ぎていく学期です。そして、短いながら濃密な時間が流れる三学期は子どもたちの成長を顕著に感じることができる学期でもあります。1 月末の赤石発表会を皮切りに本年度のまとめと次年度へ向けての準備が急速に進んでいきます。慌ただしい中にも、楽しい思い出と充実感がいっぱい詰まった三学期となりますよう、共に歩んでいただけたらと思います。ご協力よろしくお願い致します。

## **五感を存分に使って、全身で学ぶ経験でした ～門松、しめ縄づくり～**

今年も立派な門松が玄関前に飾られました。日常生活では日本の伝統文化を実感する機会が減ってきている昨今ですが、節目の行事では、私の小学校時代よりその大切さが再認識されてきているように思います。高度経済成長を通り抜け、そこで失ったものを取り戻そうとしているかのようです。

とはいえ、ICT 機器の発達により五感を存分に使う活動は減少している気がします。高学年の児童が門松づくりとしめ縄づくりに取り組みましたが、これらの経験は体全体で伝統文化を吸収する貴重な機会でした。わらを打つときの手応えや香り、しなやかになっ



たわらを燃り合わせながら編んでいくときの手のひらの感触。竹という素材がもつ独特の形状や質感。共同作業で声をかけ合いながら、複数の材料を一つの作品にまとめていく様子。こういった五感を通した学びが年の瀬とい

う季節感と結びついて、子どもたちの体に根付いていきます。文化は頭で理解することも大切ですが、実際に形に残せる技術が身についていると、より確かに次の代へと引き継がれていきますね。

ボランティアの方々におかれましては、材料の用意から当日のご指導まで、本当にお世話になりました。心よりお礼申し上げます。



柳井中学校区しらかベネット  
育てたい子ども像

**ふるさとを思い 未来を拓く しらかべっ子**